

平成28年度第二回森林環境保全基金運営委員会 会議要旨

開催日時 平成28年11月18日(金) 9時30分～12時00分
開催場所 高知共済会館 3階「藤」
参加者 (委員)
堀澤栄委員長、松本美香副委員長、岡村好文委員、川村幸司委員、
川村純史委員、林須賀委員、森本正延委員
※欠席委員 有光尚委員、門田芳穂委員、時久恵子委員
(事務局：高知県林業環境政策課)
上岡課長、田淵課長補佐(木の文化担当)、東主幹、亀川技師
(事業担当課)
鳥獣対策課：川久保チーフ、宮崎主幹
木材増産推進課：大黒チーフ、森本技師
木材産業振興課：大野チーフ
環境共生課：久保主幹
高等学校課：欠席
生涯学習課：東課長補佐、倉松主任社会教育主査

1. 林業環境政策課長挨拶

2. 議事

【1】平成27年度森林環境税活用事業の総合評価(案)について

(事務局) 資料に基づき説明。

(委員長)

No. 13の森林保全作業安全研修の評価が抜けていたのはなぜ。

(事務局)

事前にお配りした評価シートに本来は評価すべき項目欄が、事務局側のミスにより抜けていたために、委員の評価及びコメントが無かったことから、今回の総合評価から除いた。

(委員長)

この事業はどういった内容であったのか。また、評価はどうなるのか。

(事務局)

森林保全ボランティア団体向けの作業安全研修として行った事業である。

評価は後ほどあらためて行なわせていただくこととなる。ただ、事業内容の森林保全ボランティア団体への安全研修は必要な事業でもあり、次年度も継続すべきと判断した。

(副委員長)

総合評価では、「現状のまま継続」が多いが、コメントなどをみると提案や改善の要求があったが、その意見は今後の事業に反映されるのか。

(事務局)

提案や改善の意見があった事業については、次年度の事業に反映するようにしている。

(委員)

No. 4の今後の方向性は「事業拡大」であり、評価の意見は「現状維持」が3票、「拡大」が3票、「改善」が2票であり、改善しながら拡大という方向だと思う。同じような評価の意見である、No. 3は「現状のまま継続」である。No. 3の今後の方向性は改善しながら「事業拡大」にすべきでは。

(事務局)

No. 3の事業は平成27年度で終了したが平成28年度は別の事業に切り替えている。

新たに事業内容を見直したうえで、来年度新規事業として計画している。ご指摘のとおり、今後の方向性は改善しながら「事業拡大」に改める。

【2】平成28年度森林環境税活用事業の中間報告について

1. 公益林保全整備事業、2. みどりの環境整備支援事業（木材増産推進課）

(事業担当課) 資料に基づき説明。

特に質問なし。

3. 指定管理鳥獣捕獲等事業（鳥獣対策課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

特に質問なし。

4. 希少野生動植物保護対策事業（環境共生課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

特に質問なし。

5. 環境学習推進事業（生涯学習課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

併せて次年度の事業に関し、事業内容の方針について委員に意見を求める。

（委員）

なぜ、初めにNEALが選ばれたのか。安全面で今まで行っている研修での基準を確保できるのであれば、新年度で予定している事業は問題ないと考える。

（事業担当課）

元々は、CONEとNEALのそれぞれで資格を取れていたが、文部科学省の方針でNEALに一本化したことと、NEALの認定を行うことのできる資格を持った県の担当者が異動で変わったため、現在、資格認定を行える担当者が県の教育委員会事務局にいない。そのため、研修の講師など関係者と議論を重ねた結果、NEALのように段階を経て研修をするという事業を止めて、誰でも研修に来やすい高知県版の指導者養成講座として間口を広げたい。次年度はこの事業を見直す方向で検討している。

(事務局)

突然の提案で申し訳ない。来年度の事業内容については担当課で検討を重ね、次回委員会にてご説明する。今回の内容は方向性の説明とさせていただきたい。

(委員)

体験活動推進事業の講師派遣の対象はどこまでか。PTA、子供会等とあるが、児童クラブも対象とできるのか。

(事業担当課)

学校以外でも対象となる。PTA、児童クラブでも実施している。

(事業担当課)

先日、当課が事務局となっている社会教育委員会において、幼少期からの体験活動は重要であるとの提言も受けた。

今後、提言の実施のためにも当課としてはこの事業を活用していきたいと考えている。

(副委員長)

先ほど配布のあった説明資料の中で、活動内容に「バルーンアート」とあるが、これは森林とどう関係があるのか。

(事業担当課)

ご指摘のあった件については、実際の活動内容は学校周辺の自然環境について講義を行い、その後、「バルーンアート」を実施したものであり、活動自体は自然環境学習が中心である。

(副委員長)

そうだとすれば、森林環境税で経費を計上するのであればもう少し根拠となる資料がいる。特に、他の事業でもあるが森林環境税の使い方として明確に、客観的に分かるようにすべきである。

(委員長)

事業実績の説明の際に、もう少し資料を付けて欲しい。

使い方として適切かどうか分かり難いので、森林環境税の使われ方として、各々の活動内容を分かりやすくすべき。

6. 高校生森林環境理解事業、 7. 高校生後継者育成事業（高等学校課）

（事業担当課が所用で欠席したため、事務局が説明する。）資料に基づき説明。

特に質問なし。

8. 山の学習支援事業（林業環境政策課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

（副委員長）

説明のあった中で、中間値がほぼ実績値となるのか。

（事業担当課）

実績では多少の増減はあるかと思うが、ほぼこの数値となるのではないか。

9. 森づくりへの理解と参加を促す広報事業（林業環境政策課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

9-1（事業担当課）資料に基づき説明。

（副委員長）

評価シートの効果指標の計算方法は数字が違っているのではないか。

（事業担当課）

次回までに確認する。

9-2（事業担当課）資料に基づき説明。

（副委員長）

先ほどの説明では、次年度は情報誌の総まとめとなるとのことだが、予算額の増減はあ

るのか。

(事業担当課)

2年契約であるため、契約金額の範囲内で実施することから予算額に変化はない。

(委員)

平成27年度事業評価シートでは、委員から副読本を作成してはとの意見があったが、そこはどのようにするのか。

(事業担当課)

来年度の予算で作成する方向で検討している。

9-3 (事業担当課) 資料に基づき説明。

特に質問なし。

9-4 (事業担当課) 資料に基づき説明。

(委員長)

県民アンケートは3,000人に置き換わったのか。

(事業担当課)

3,000人を対象に県民世論調査を行ったが、森林環境税を使って実施していないため、活動実績から除いた。

(事業担当課)

当初は、森林環境税の事業として、県民アンケートを実施することとしていたが、予算折衝の際に他課の調査項目とあわせて県民世論調査で実施することとなった。そのため、事業費を減額し企業アンケート調査の経費のみ計上している。

10. こうち山の日推進事業 (林業環境政策課)

(事業担当課) 資料に基づき説明。

10-1 (事業担当課) 資料に基づき説明。

(委員長)

活動指標の中間集計ができていないようだが、昨年と比べ見通しはどうか。

(事業担当課)

あまり進んでいない。特に回数は目標値に届かないと思われる。

ただ、来年は山の日に合わせてイベントを開催するよう検討しており、回数は減るかも知れないが、参加人数は増やしていきたい。

(副委員長)

この事業委託先からは定期的な報告はあるのか。

(事業担当課)

仕様書で指示していないため、定期的な報告は行っていないが、必要に応じて連絡を頂いている。今後は報告を頂くようにする。

(副委員長)

情報連携は重要なので、月一での報告を仕様書で指示するようにすべきでは。

(事業担当課)

今後検討する。

(事業担当課)

委託先とは、常に連携してはいる。今年は四国山の日イベントがあったこともあり、他の活動を把握できていなかったが、昨年度の回数及び参加人数を上回るよう、今後も指導していく。

10-2 (事業担当課) 資料に基づき説明。

(副委員長)

評価シートの中間値の報告では団体数、事業回数とも増加したとあるが、昨年度に比べると事業回数は減っているが。

(事業担当課)

中間値であり、また山の日先生派遣事業も含まれていることから、実績ではもう少し事業回数は増えるのではないかと。

1 1. 運営委員会等開催費（林業環境政策課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

特に質問なし。

1 2. 森林保全作業安全研修（林業環境政策課）

（事業担当課）資料に基づき説明。

（副委員長）

受講者が減った理由の一つに、林業学校の短期研修とカリキュラムがバッティングしたとのことだが、研修の委託先は同じ事業体か。

（事業担当課）

場所も委託先も同じであるが、この事業は土日開催としている。

利用者側の利便性の観点からも、来年度は林業学校を所管している事業実施課に変えて実施することとした。

（副委員長）

土日開催であれば、平日に受講できる方以外がメインとなるのではないか。

（事業担当課）

来年の林業学校の短期講習のスケジュールに土日開催も組み込んでいただくことで、話を進めている。

（副委員長）

それで来年度予算が減ったのか。

（事業担当課）

はい。

13. 木の香るまちづくり推進事業（木材産業振興課）～

（事業担当課）資料に基づき説明。

特に質問なし。

【3】その他

（1）平成29年度森林環境税に関する予算について

（事務局）資料に基づき説明。

（副委員長）

説明資料の中で、新規事業である「わな猟捕獲推進事業」の備考欄に市町村が認めた狩猟者とあるが、そうする理由が分からないので、次回までに担当課の鳥獣対策課から確認しておいて欲しい。

（事務局）

了解した。

（2）次期森林環境税に向けた取組み状況について

（事務局）資料に基づき地域座談会での意見について説明。

（副委員長）

資料のP3にある、森林環境税の用途を拡大とあるが、具体的にはどんな話となったのか。

（事務局）

これは、第二部の県民代表者の発言や意見であり具体的なものではない。

森林環境税の用途の拡大については、第三部で行ったワークショップでの課題解決に向けた意見から適切なものを選び検討することになる。

(3) 現地視察について

(事務局)

年度末となりかなり忙しい中であるため、委員の現地視察を2月に予定している県民参加による森林モニターツアーと併せて行ってはどうか。

また、それ以外に委員から要望があれば検討したい。

(委員長)

森林モニターツアーの予定はどこか。

(事務局)

馬路村魚梁瀬の千本山を考えている。

(委員長)

スケジュールの問題もあるので、あまり無理をせず、場合によっては次年度に開催してはどうか。

(事務局)

了解した。

(4) 第3回森林環境保全基金運営委員会の日程調整について

(事務局) 今後のスケジュールを説明

ほか、特になければ、今日の委員会を終了する。

以上で閉会